

「Ruby 安定版保守委託事業」提案募集要領

1 事業の目的

Ruby 安定版の保守を委託し、安定した保守体制を実現することにより、ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築する。

2 委託事業の内容

- Ruby の不具合に対する修正を選別し、互換性の確保に配慮した上で Ruby 2.0.0 へのマージを行うこと。
- 各開発者とスケジュールなどを調整した上で Ruby 2.0.0 のリリース作業（Ruby 公式 Web サイトやメーリングリストでのアナウンスを含む）を行うこと。
- Ruby の脆弱性報告に対して、報告者や各開発者との調整を行い、必要に応じて Ruby 2.0.0 の緊急リリースもしくは Ruby 2.0.0 用パッチの提供を行うこと。また、Ruby2.1.0 のメンテナが脆弱性に対応したリリースを行えない場合は、代わりに Ruby2.1.0 のリリースを行うこと。

3 委託先の選定方法

一般公募による提案競技を行い、別途設置する選定委員会による協議により委託先候補者を選定する。

4 委託期間

2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日まで

5 委託業務の予定額

360 万円（税別）以内とする。

6 提案資格者

個人、個人事業主若しくは日本国内の法人格を有する者

7 応募方法

(1) 提出書類

次の内容を記載した提案書（別添様式）を提出すること。なお、必要がある場合は、追加資料の提出を求めることがある。

- C 言語の開発技術・経験
- Ruby 本体の開発技術・経験
- Ruby コミュニティ活動への参加経験（メーリングリストを含む）
- 英語によるコミュニケーション能力
- 提案金額

(2) 提出方法

提案書に必要事項を記載し、事務局（info (at) ruby.or.jp）までメールで申し込むこと。

(3) 提出期限

2014 年 2 月 28 日（金） 17 時 00 分まで（必着）

(4) 提案時の言語

日本語

8 選定の実施、契約

(1) 審査の方法

選定委員会の評価が最も高い提案者を「委託先候補者」に選定する。なお、委託先候補者が辞退した場合は、次点となった提案者を委託先候補者とする。

(2) 選定結果の通知

選定の結果については、提案者に対してメールで通知する。なお、結果についての異議申し立ては受理しない。

(3) 契約の締結

委託先候補者から見積書を徴取し予定価格の範囲内において契約を締結する。

(4) その他契約条項

委託先候補者との協議事項とする。

9 その他の留意事項

- (1) 提出後の問い合わせ、書類の追加・修正には原則として応じない。
- (2) 提出書類は他の提案者に対して非公開とする。
- (3) 提出書類の作成及び提出等に要する費用は提案者の負担とする。
- (4) 書類提出後に辞退する場合は、速やかにその旨を申し出ること。

※ 募集要領の一部を変更致しました。最終更新日時：2014年1月31日。

4 委託期間

(変更前) 2014年4月1日から2014年9月30日まで

(変更後) 2014年4月1日から2015年3月31日まで

5 委託業務の予定額

(変更前) 180万円(税別)以内とする。

(変更後) 360万円(税別)以内とする。